

軽量・足つきのよい気軽な新型クルーザー 「ELIMINATOR」 「ELIMINATOR SE」

New, Lightweight Cruisers with Enhanced Ground Reach:
ELIMINATOR and ELIMINATOR SE



昨今のカスタマーの志向として、各自のライフスタイルに溶け込むようなモデルが求められている。そこで、快適なライディングポジションを備え、気軽に楽しめる現代的なクルーザースタイルのモデルとして「ELIMINATOR」を開発した。当モデルは400cm³クラス最軽量のクルーザーモデルであり、低いシート高と併せて初心者でも安心できる取り回しを実現した。

まえがき

2020年から世界中に広がったCOVID-19の影響により、生活における二輪車の存在が見直され、日常の足から週末のレジャーにいたるまで、密を避ける移動手段として需要の高まりを見せている。

1 背景

昨今のカスタマーの志向として、二輪車を中心にある生活ではなく、自分の趣味の中に二輪車を取り込みさらに生活を充実させたいという購入動機が増えており、各自のライフスタイルに溶け込むようなモデルが求められている。そこで“軽量・足つきの良いeasy commuter”をコンセプトに、快適なライディングポジションを備え、気軽に楽しめる現代的なクルーザースタイルのモデルとして「ELIMINATOR」と「ELIMINATOR SE」を開発した。

2 製品の仕様

スリムでロー&ロングなスタイル・低く快適なシート・軽快かつ自然なハンドリングなど日常的な使い方からロングツーリングに至るまで、扱いやすさを重視した。400cm³クラスのクルーザーモデルでは最軽量であり、低いシート高と合わせて初心者でも安心できる取り回しを実現している。

3 製品の特長

(1) ライディングポジション

「ELIMINATOR」では、ライダーの快適性を確保するため、図1に示すように「Z400」に対して上体を起こしゆったりとしたライディングポジションを備えている。また、ステップ位置は多くのクルーザーモデルに見られるフォワードコントロールではなくミッドコントロールを採用することで、膝が適度に曲がる自然なライディングポジションを実現している。

(2) 車両取回し性

初心者にも安心して取り扱えるように、エンジンを剛性・強度メンバとしてフレームを最適化するなど車体の軽量化

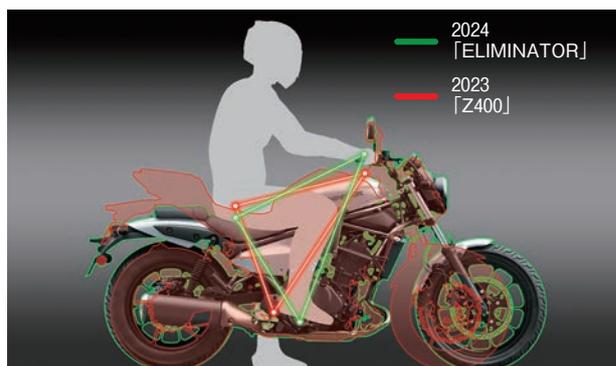


図1 ライディングポジションの比較
Fig. 1 Comparison of riding positions

を追求した。また、図2に示すように、バッテリーや冷却水のリザーブタンクなどの重量物をシート下に配置することで重心位置を「Z400」に対してライダー側に近づけるとともに、シート高を735mmと低くすることで、跨ったときの安心感に加えて停車時や引き起こし時の取回し性を向上させた。加えてクルーザーモデルらしい1,520mmのロングホイールベースと30°と角度のついたキャスト角を採用しながら、図3に示すようにトレールを一般的なクルーザーモデルからスポーツモデル寄りにすることで軽快かつ自然なハンドリングを実現させた。

(3) 乗り心地

長時間のライディングでも快適な乗り心地を実現させるために、低いシート高ながらロック機構をシート前方に配置することで、座面部分に十分なウレタン厚を確保した。またウレタン底面に空洞を設けることで、図4に示すように空洞の無いウレタンに比べ跨ったときの面圧が分散され、乗り心地のさらなる向上につながった。さらにアクセサリとしてハイシート（シート高：765mm）とローシート（シート高：715mm）を設定することで、幅広い体格のライダーが快適にライディングを楽しむことができる。

(4) ドライブレコーダの採用

二輪車向けのドライブレコーダは、搭載場所や取付作業の難易度から四輪車に比べて普及は遅れているものの、

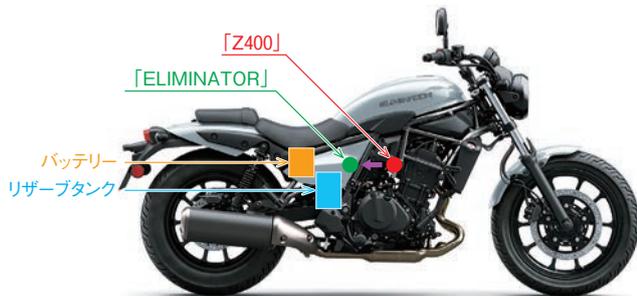


図2 重心位置の比較
Fig. 2 Comparison of gravity center

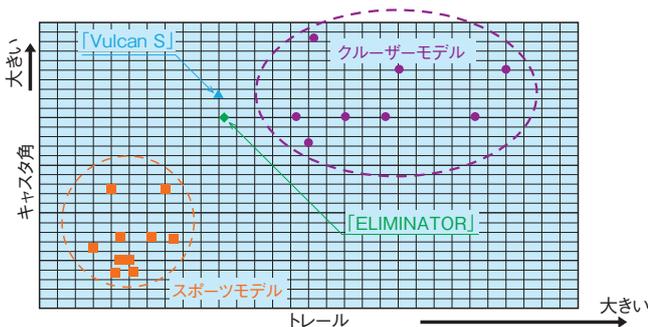


図3 キャスタ角／トレールの比較
Fig. 3 Comparison of caster angles and trails

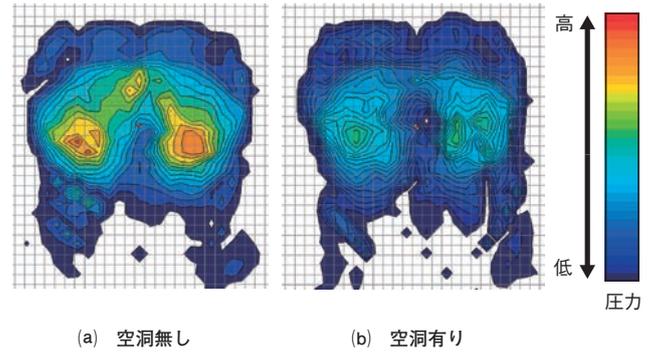


図4 シート面圧の比較
Fig. 4 Comparison of pressure distribution on seat surfaces

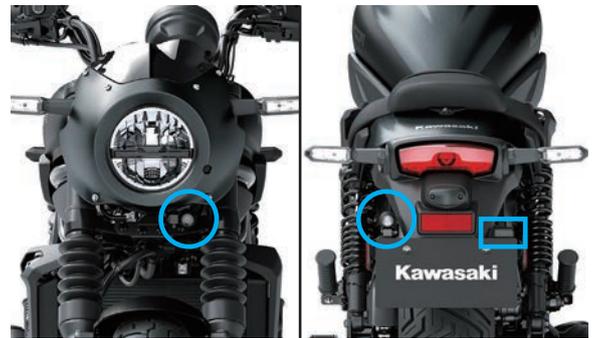


図5 GPSおよび前後カメラ
Fig. 5 GPS and both front and rear cameras

徐々に需要の高まりを見せている。「ELIMINATOR SE」では専用に開発した取付ブラケットやハーネスのレイアウトにより、すっきりとした外観を実現した。なお「ELIMINATOR SE」は図5に示すGPS搭載・前後2カメラ型ドライブレコーダをモーターサイクルの市販車として世界で初めて標準装備^{*}した。

※日本仕様のみ（2023年3月カワサキモータース調べ）

あとがき

販売後、日本バイクオブザイヤー2023小型二輪部門で最優秀金賞を受賞するなど好評を得ており、市場ニーズに合わせた商品を提供できたと考えている。今後も市場の動向を見極めながら、カスタマーに寄り添った製品開発を続けていきたい。

〔文責〕 カワサキモータース株式会社
MCディビジョン 第二設計部
柏原 健[†]／岩本 太郎

〔問い合わせ先〕
カワサキモータース株式会社
<https://www.global-kawasaki-motors.com/jp/inquiry/>

[†] Kawasaki Motors Europe N.V. R&D department（現所属）